

おおふなと 社協だより

2021年5月号

ふれあいネットワーク



今月の表紙

ひらた ゆうき けいこ
平田友樹さん・啓子さん
ゆめ まゆ
夕芽ちゃん・茉夕ちゃん
(4歳) (2歳)
(猪川町)

姉妹仲良く大きく育ってね

【特集】笑顔と3つの事業で 健やかな成長をサポート	2 ~ 3
就労準備支援事業 就労体験	4
福祉車両貸出事業	4
生活福祉資金特例貸付	5
令和3年度大船渡支えあい福祉活動助成事業	5
お知らせ	6 ~ 7
輝き人	8

笑顔と3つの事業で 健やかな成長をサポート



少子化や核家族化、地域とのつながりが希薄となつてゐる今、子育てをめぐる環境は大きく変化しています。

子育てをする中で生じる「孤独感」や「不安感」は、同じ境遇に置かれる人や、相談できる誰かに話すことで解消されることあります。

社会福祉協議会では、そのような孤独感や不安感を解消し、大船渡で安心して子育てできるよう、「子育て支援事業」を実施し、子育て家庭をサポートしています。



○利用者支援事業

妊婦さんや子育て家庭の悩みについて、つどいの広場に常駐する保育士資格を有する職員が相談に応じます。

また、全ての子どもたちが健やかに成長し、必要な子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、適切な情報提供や助言を行います。

そのほか、地域全体で子育てを支援するため、市内の関係機関とネットワークを構築し、連絡・調整を行い、安心して子育てができる環境づくりや課題解決に取り組みます。

○地域子育て支援拠点事業 (つどいの広場&わいわいステーション)

子育て中の親子が、気軽に集い、や親同士が交流し、子育ての不安や悩みを共有、相談しあえる場を提供しております。子育て支援員が常駐しており、育児や保育に関する相談もできます。

また、子育てに関する健康相談や災害に備えるための知識を習得できる講習会、リフレッシュなどを目的としたヨガや自力整体教室など、さまざまな子育て講習会を開催します。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部利用を制限しています。午前・午後とともに、予約制で利用者数の上限を15人までとしています。

LINE公式アカウントでは、イベント情報の配信や育児相談に応じています。「つどいの広場」の利用予約もできますのでおすすめです。

○ファミリーサポートセンター事業

通院や兄弟の学校行事等で、一時的に子どもを預けたいとき、利用できる事業です。

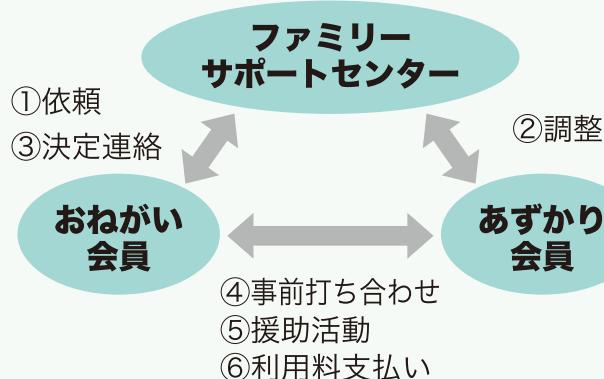
会員登録は無料ですが、預かり料金もかかります。子ども1人当たり1時間5

00円（平日午後7時から午後9時、土日、祝祭日は600円）です。子どもを2人以上預ける場合、2人目以降は半額となります。

預かる場所は、つどいの広場や病院の待合室など、ご自宅以外の場所も可能です。安心してご利用いただくために、子育て支援ボランティア養成講座を受講した地域の人が預かり、初回利用時には、事前に打ち合わせ等を行います。

現在、子育てが一段落した人、子どもが好きな人など、預かつていただぐ会員を募集しています。

ファミリーサポートセンターの利用手順





私たちが子育てを応援します！

「社協で行っている子育て事業はわかったけど、つどいの広場にはどんな職員がいるの？」などの不安から、利用や相談に踏み出せない人もいると思います。

今回は社協の子育て事業を安心して利用していただくきっかけとなるよう、子育て支援事業担当職員を紹介します！



【子育て支援専門員】

(保育士・幼稚園教諭資格保有)

ほそ
細川光矢

住所：末崎町



【子育て支援相談員】

(保育士・幼稚園教諭資格保有)

み
三宅利香

住所：立根町

市内の子育て家庭が、子育ての悩みを解決し、充実した毎日を過ごせるよう、男性の視点で支援に努めています。

相談があってもなくても、いつでも気軽に声をかけてください。話してスッキリしたり、前向きな気持ちになっていただけることが一番の願いです。

主な担当業務

- 利用者支援事業等の情報提供
- 子育てに関する相談・助言
- 関係機関との連絡調整



【子育て支援アドバイザー】

みずのたかこ
水野孝子 住所：猪川町

子育て中に誰かの手を借りたい時に、気軽に登録や利用ができるよう、創意工夫しながらがんばります。

主な担当業務

- ファミリーサポートセンター事業
- 子育て支援ボランティア養成講座や子育て講習会の開催

私たちが 子育て支援員です

経験豊富な子育て支援員6人が交代で勤務しています。

安心して大船渡市社協「つどいの広場わいわいステーション」に遊びに来てください。



ささきけいこ
佐々木恵子



にいぬまゆきな
新沼如奈



やまぐちかずえ
山口和枝



ささきみゆき
佐々木みゆき



ちばきょうこ
千葉京子



こんのひろみ
今野弘美

つどいの広場&わいわいステーションとは？

Y・Sセンター内に常設している子育て親子の交流の場です。保育士資格を有する職員が常駐しており、子育てに関する相談やサポートを行っています。ご利用は無料です。

開催日時 毎週火曜日～土曜日
(日・月・祝日・年末年始はお休み)
午前 10時～11時50分
午後 1時～2時50分

利用対象 0歳～未就学児とその家族（お兄ちゃん・お姉ちゃんもOKです！）
※おさがりコーナーもありますので是非ご活用ください
(新生児用～120cmくらいまで)



まずは
友達登録から！



ID:@046ghkgo

新たな仕事にチャレンジ

就労準備支援事業 就労体験



指導を受け、必要な部品の準備を行いました

就労準備支援事業では、すぐ
に就労することが難しい人が、
研修やボランティア活動を通じ
て就労意欲の向上を図り、就労
を始め社会参加することを目指
しています。

本事業では利用者の就労のイ
メージを広げるため、定期的に
就労体験を実施しています。4
月には志田電気株式会社大船渡
支店協力のもと、約2週間仕事を
への理解と適性を図りました。
指導を担当した従業員に話を

伺うと「今回は、主に家電の取り
付け作業のアシスタントをして
もらいました。部品の知識や仕
事の段取りを教えながら、作業
の効率化を意識することを指導
しました」とのこと。

体験者は部品を覚えるのに苦
戦した様子でしたが、作業がス
ムーズに行えるように準備する
ことの大切さを学んだようです。

就労体験先の支店長は「体験
受け入れは出会いの場として捉
得ることは大切ですが、これから
は人材を育てていかないと企
業の発展は難しいと感じていま
す。誰でも最初は思うように仕
事ができないのが当たり前。樂
しんで仕事ができる環境を整え
ることが重要だと考えていま
す」と話してくれました。

今後も、就労に不安を感じて
いる人たちが経験を積みながら
自信をもつて働くことができる
よう、地域の企業とともに、サ
ポートできる体制づくりを進め
ていきます。

車いすでのお出かけをサポートします 福祉車両貸出事業



リモコン操作のみで、車いすのまま安全に
乗降できます

社会福祉協議会では、車いすを使用しなければ移動が困難な人
たちの外出や社会参加を支援するため、福祉車両の貸出を行つ
ています。車いすを使用している人が一般車両で外出する際には、乗降時に介護者が抱きかかるなど介護負担が大きいほか、転落などの危険も伴います。そのため、外出機会は最小限に制限されがちになつて現状があります。

貸出する車両は、電動リフト

機能が装備されているため、車両への乗降は車いすのまま、リモコン操作のみで対応できます。介護者の負担が軽減され、転落等の危険性も少なく安全です。

使用目的は、車いすを使用して
いる人の外出に伴うものであれば、
特に条件はありませんので、旅行
や買い物などにも利用可能です。
お気軽にご利用ください。

○貸出車両

日産キャラバン（8人及び車い
す利用者2人乗り）

○申込方法

指定の申請書を利用日の5日前までに提出してください。申請書

は本会ホームページでダウン

ロードすることができます。

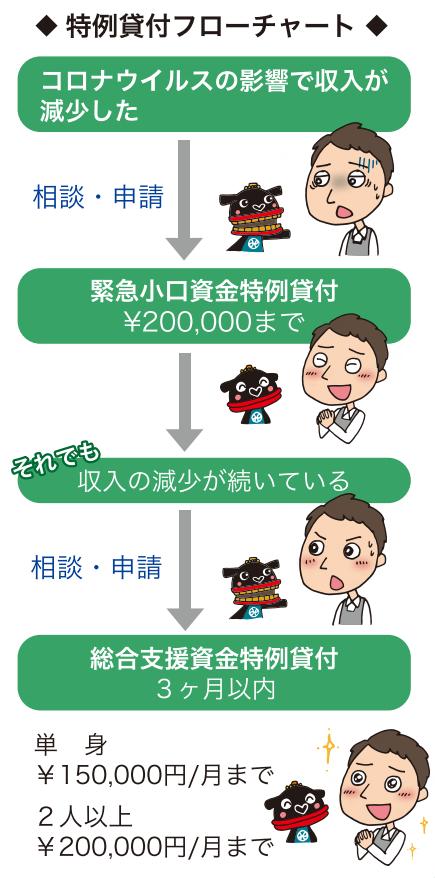
○利用料金 無料（燃料代は自己負担となります）

○その他

車両保険は本会にて加入済み
です。外出先で使用できる移動式ス
ロープの貸出も無料で行つてい
ます。

6月末まで申請期間延長へ

生活福祉資金特例貸付



新型コロナウイルス感染症による影響で収入が減少し、貸付を希望する世帯に生活福祉資金特例貸付を実施しています。3月で受付終了予定でしたが、感染拡大の収束が見えないことから、申請期間が6月末まで延長されることになりました。生活福祉資金特例貸付には、2つの貸付制度があります。

【緊急小口資金特例貸付】

生活維持のため、一時的な生活費を必要とする世帯に20万円まで貸し付けます。(1回限り)

【必要書類等】
・運転免許証・健康保険証・通帳・銀行印・減収したことが分かる書類(給与明細、通帳、帳簿など)

【総合支援資金特例貸付】
も、生活維持が困難な状態が続いている世帯に、生活の立て直しまでの生活費を貸し付けます。
貸付のご相談は密を避けるため予約制としていますので、事前に電話等でお問い合わせください。

住民の支え合い活動を支援 令和3年度 大船渡支えあい福祉活動助成事業



助成金を使しながら充実した活動を展開しています

社会福祉協議会では、住民主体の支え合い活動の拡充、地域づくりを推進するため、積極的な活動を開催している団体に対し「大船渡支えあい福祉活動助成事業」を行っています。
本事業は、サロン活動のほか、コミュニティ食堂や、移送・外出支援など、広く住民生活を支援する福祉活動に係る経費を最大5万円まで助成するものです。助成金対象経費は、消耗品費のほか、食材費や茶菓代も認められます。

○対象団体

①大船渡市内で定期的に福祉活動を実施している団体、もしくは実施を考えている団体
②他の公的助成を受けていない団体

○助成金額

総事業費の20%以上かつ90%以内で上限5万円まで

○助成対象となる経費

消耗品費、茶菓代、通信費、燃料費、賃借料など

○応募方法

申請書など各種書類に必要事項を記載し申請

○応募期間

4月21日(水)～6月21日(月)

○その他
申請団体多数の場合、新規申請団体を優先します

* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。申込み、問い合わせは下記までご連絡ください。

介護のしごと相談日程（6月）

開催日	場 所	時 間
7日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
8日(火)	おおふなぽーと	午前10時～午後3時
10日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
14日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
17日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
21日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
24日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
28日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時

※ 8日(火)はお子様と一緒にご相談可能です。

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本

電 話 080-8201-0200

メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※ 感染防止対策を講じたうえで開催します。

※ 事前予約の方を優先させていただきます。

* 就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事に就いておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

日 時 毎週木曜日

午後1時30分～午後3時30分

場 所 大船渡市民体育馆

内 容 卓球、バドミントンほか

持ち物 上靴(動きやすい服装で参加してください)

参加費 無料

令和3年島根県松江市大規模火災 義援金の募集について

令和3年4月1日に松江市島根町加賀地内において発生した大規模火災により、住家の焼失等の大きな被害が生じました。

大船渡市共同募金委員会では、被災された人たちに対する義援金を受け付けています。

受付期間 4月12日(月)～5月31日(月)

受付場所 大船渡市Y・Sセンター

その他 救援物資、物品は取り扱いません

「募集」「イベント」「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報を
お届けします。

お知らせ
令和3年6月

申込・ 大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルスの感染
状況により中止となる可能性があります。

* 子育て支援事業情報

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

つどいの広場イベント日程（6月）

開催日	内 容	時 間
3日(木)	はじめてさんの日	午前10時 ～午後2時50分
9日(水)	健康相談会	午前10時20分 ～午前11時50分
17日(木)	子育て相談の日	午前10時 ～午後2時50分
	ハローワーク 出張お仕事相談会	午前10時 ～午前11時30分
30日(水)	ママのための 自力整体教室	午前10時15分 ～午前11時45分

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません。

場 所 おおふなぽーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、6月18日(金)(午前10時～午前11時50分)に開催します。



* Y・Sセンター情報

筋力測定会

1分間の測定で、筋肉量、体脂肪量、水分量などがわかる筋力測定会を開催します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制、人数制限を設けての開催となります。

参加を希望する人は、下記まで事前にお申し込みください（電話申込可）。

日 時	6月12日(土)
	①午前の部：10時～12時
	②午後の部：1時～3時
人 数	午前、午後とも 24人
場 所	大船渡市Y・Sセンター
料 金	無料

*その他

寄付・寄贈物品受入（4月）（敬称略）

復興支援金

柴田 桂子

災害支援金受入（4月）（敬称略）

令和3年2月福島県沖地震災害支援金

匿名（1件）

*助成金情報

令和4年度「生活課題解決支援事業」 助成事業の募集について

岩手県共同募金会では、地域課題の解決に向けた活動を推進し、地域から孤立（社会的孤立）する人たちを地域の一員として包み支え合う仕組みづくりの構築を推進するため、助成事業を行います。

対象団体 民生児童委員協議会、N P O法人など

対象事業 ①地域から孤立をなくすための活動
②東日本大震災被災地の復興に向けた支援活動
③その他生活課題、地域課題の解決に取り組む活動

対象事業実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

申 請 額 20万円～200万円

申請方法 岩手県共同募金会に申請書及び必要書類を添付して申し込んでください。

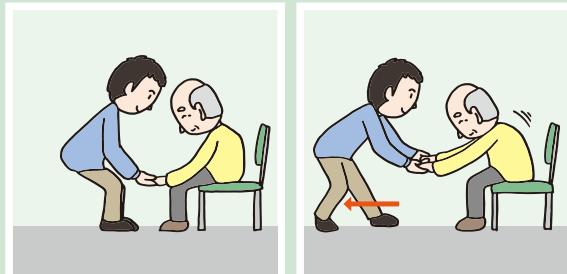
※申請書のダウンロード、必要書類の確認は岩手県共同募金会のホームページで行ってください。

(http://www.akaihane-iwate.or.jp)

申請期間 4月19日(月)～5月31日(月)

そ の 他 助成を受ける団体は、令和4年1月～3月に実施する「あったかいわてプロジェクト～地域みまもり応援募金～」への取組が必要です。

介護のワンポイントアドバイス ・「立ち上がりの介助」



介護者は下に手を引く

介護者が1歩後ろに下がり、介護されている人がお辞儀をする動作になるよう導く

立ち上がり介助のポイント解説!!

①前かがみになる

頭の中心部が足先よりも前に出るくらい前かがみになり、前後のバランスをとる。

②足を引く

足が頭の位置よりも前に出ていては立ち上がることはできません。

③体にあった椅子、ベッドの高さ

最も立ちやすい高さに設定しましょう。



我が家のかわいいペット



我が家
の
チロちゃん・テツちゃん

クリーム色のチロと黒猫テツ。
いつも一緒に仲良し兄弟です♡

大船渡町 トモ

投稿写真大募集！

①写真データをメールする

メールに画像を添付して送ってください。



②写真を郵送する

宛先は8ページに掲載しています。

①・②共通
●ペットの名前
●一言説明コメント
●名前（ペンネーム可）
●住所（町まで可）を必ず添えてください

次号締め切り
6月7日（月）

輝き人

くま 谷 和さん(32歳)

末崎町在住。立根町の「うえのケアサービスセンター」で、介護職員として従事。住み慣れた地域で、利用者がより良い生活を送れるよう、笑顔を絶やさず、日々奮闘中。



いろんな人の 介護や人生に携わるよう

○家族の変化から介護の道へ

高校卒業後、医療事務員を目指して、仙台の医療系専門学校に進学しました。ただ、その職に強い思い入れがあつたわけではなく、漠然とした考え方での進学でした。

それでも、勉強に励み、必要な知識、資格を得て、当初の目標に近づいていることを実感し始めた頃でした。祖母が体調を崩し、介護サービスを利用しながらの生活になりました。その影響で、母の生活も一変し、介護負担も当然増えいきました。

その状況を知りながらも、離れて暮らす自分には、祖母も、母をも支えることができず、割り切れない気持ちのまま、時間だけが過ぎ去っていきました。そんな時、ふと、「自分が介護の仕事に就けば、家族を支えられるのでは」と思うようになりました。そこからの気持ちの切り替えは、自分でも驚くほど速かつたと思います。

○資格が人を育てる

職場の先輩の勧めもあり、平成27年に介護福祉士の資格を取得しました。

それまでは、先輩の指示や日程表に沿って、その日の仕事をこなすだけの毎日だったように思いますが、取得後は資格を持つているからこそ、自分の言動に責任を持ち、意志ある行動が必要だと強く感じるようになりました。この気持ちは今も変わっていません。

○小規模ゆえの強み

卒業後、仙台と市内の規模の大きな介護施設に勤めた後、現在の「うえのケアサービスセンター」に勤めることになりました。

定員は10人の小規模施設ですが、小規模だからこそできる」とや強みがあると思います。

利用する人は、一人ひとり目的が違うわけですから、その目的やその人に合った柔軟なサービスを提供できるということです。また、一人に関われる時間を多く持てるので、何気ない会話や体の小さな異変から、その人の心境の変化、病気の早期発見に繋げられるのも小規模事業所の良さだと思います。

そして、スタッフ全員でその日の出来事や利用者の変化について、いつも情報共有や話し合いができるのも強みだと思っています。

○社会を支える仕事

介護の仕事は、きつい、休めないなど、あまり良いイメージがありますが、そんなことばかりではありませんが、そんなことばかりではありません。些細なことかもしれませんのが、感謝の言葉を伝えられたり、リハビリを通して前向きな生活を送れるようになっていく姿を目の当たりにすると、とても嬉しく、やりがいを感じます。

そして、介護の仕事があることで、家族は安心して仕事や外出できまし、休息を取ることもできます。本人だけでなく、その家族や社会を支える大切な仕事だと思います。そのことを一人でも多くの人に理解してもらい、仲間が増えたら嬉しいです。